

島本町新庁舎建設に関する説明会

令和5年10月15日（日）10：00～ふれあいセンター第4学習室



鶴ヶ池広場から見た新庁舎イメージ

次第

- 1.これまでの経緯
- 2.新庁舎の概要
- 3.配置計画
- 4.平面計画
- 5.工事スケジュール
- 6.安全管理対策等
- 7.工事車両搬入・搬出経路
- 8.事業費・町負担額・償還金及びその変遷
- 9.質疑応答

1.これまでの経緯

時期	町の動き
平成30年4月	「島本町役場庁舎耐震化方針」策定
令和元年6月	「島本町新庁舎建設基本計画」策定
令和2年9月	令和2年度中の新庁舎建設事業着手を見送る方針を行政報告
令和2年11月	「島本町新庁舎建設の検討について」策定
令和4年1月	島本町新庁舎建設基本設計完了
令和4年11月	島本町新庁舎建設実施設計完了
令和5年2月	島本町新庁舎建設工事入札（1回目）→入札不調
令和5年5月	島本町新庁舎建設工事入札（2回目）→落札事業者決定
令和5年8月	島本町新庁舎建設工事着工

2.新庁舎の概要

主要用途	庁舎
建築面積	3,139.14㎡
延床面積	6,244.59㎡
構造・階数	新庁舎棟 : 鉄骨造・地上4階 広場棟（現役場庁舎） : 鉄筋コンクリート造・地上2階 連絡通路1 : 鉄骨造・地上2階 連絡通路2 : 鉄骨造・地上2階 付属棟 : 鉄筋コンクリート造・地上1階
駐車台数	来庁者用41台 公用車用21台
駐輪台数	来庁者用93台 公用車用9台

基本理念

命をつなぎ 夢をはぐくむ 安心して集える親しみのある庁舎
～みづ清らかで自然あふれる未来へとつながる縁～



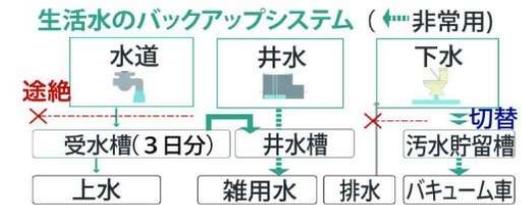
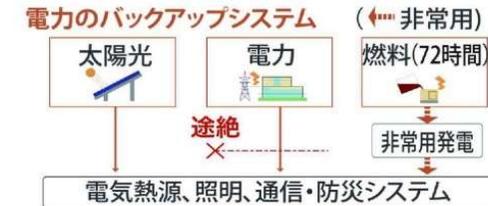
2.新庁舎の概要

・ 構造体

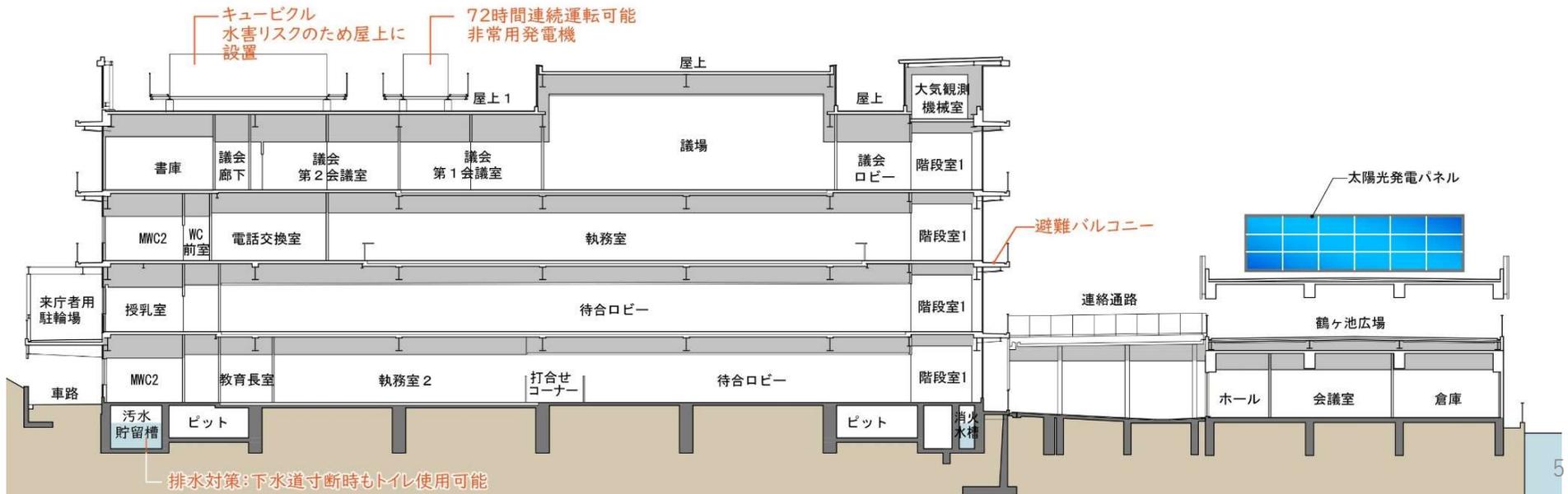
分類	耐震安全性の目標	重要度係数
I	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。	1.50
II	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。	1.25
III	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。	1.00

・ 非構造部材

分類	耐震安全性の目標
A	大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れの円滑な実施、又は危険物の管理のうえで、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
B	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られている。



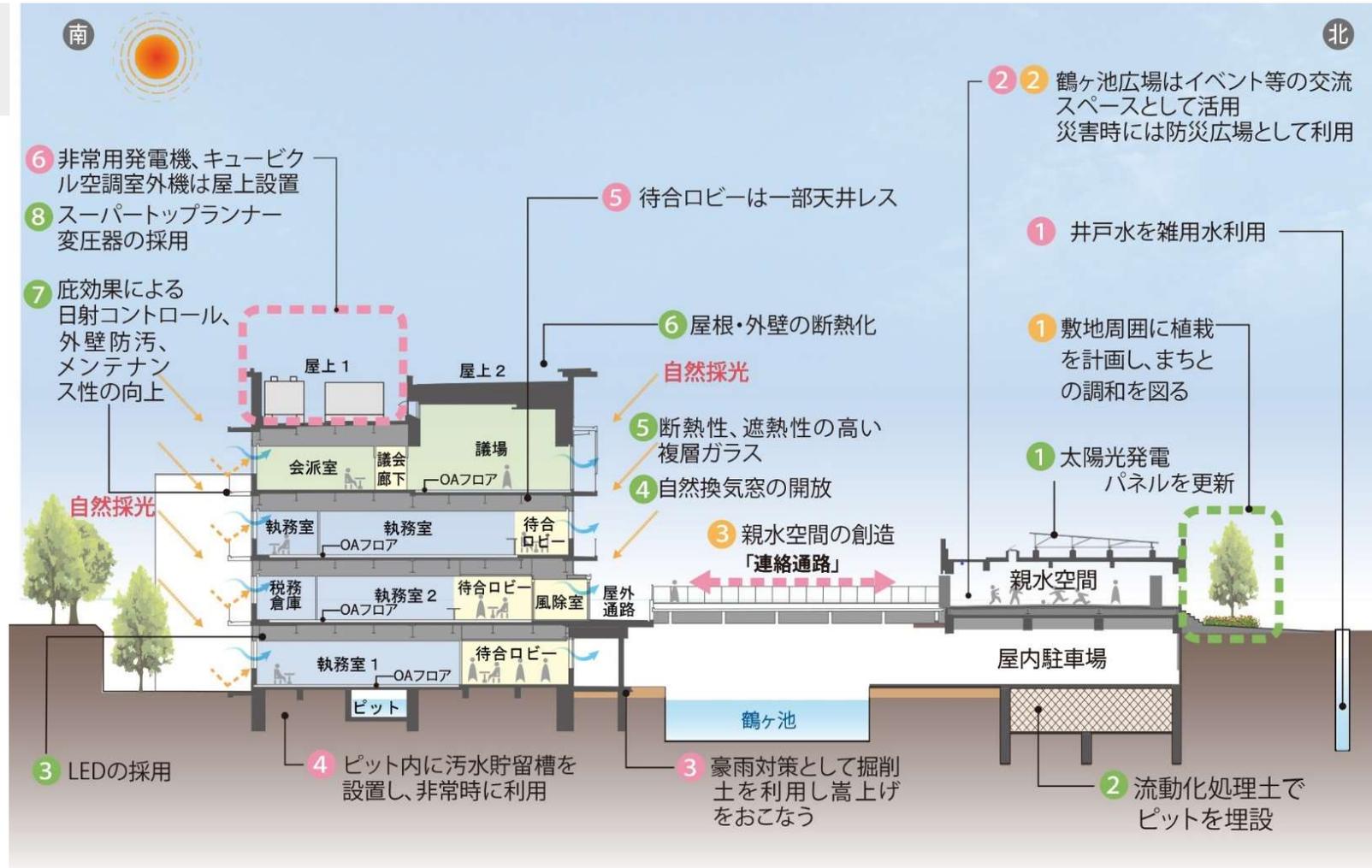
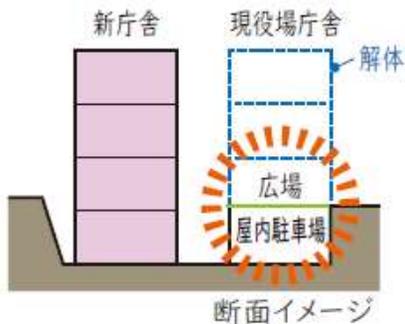
インフラのバックアップ計画



2.新庁舎の概要

今あるものを使い経済的にも優れたECO庁舎

- 現役場庁舎の地下及び1階の一部を残して減築・改修し活用します。
- 現役場庁舎の1階の一部を住民に開かれた広場やパーゴラ、親水空間などに改修して再利用します。
- 現役場庁舎の地下部分は駐車場や会議室、倉庫などに改修して再利用します。
- 現役場庁舎の地下部分を残し、土留めとして利用することで、事業費の縮減を図ります。



3.配置計画

配置図の基本的な考え方

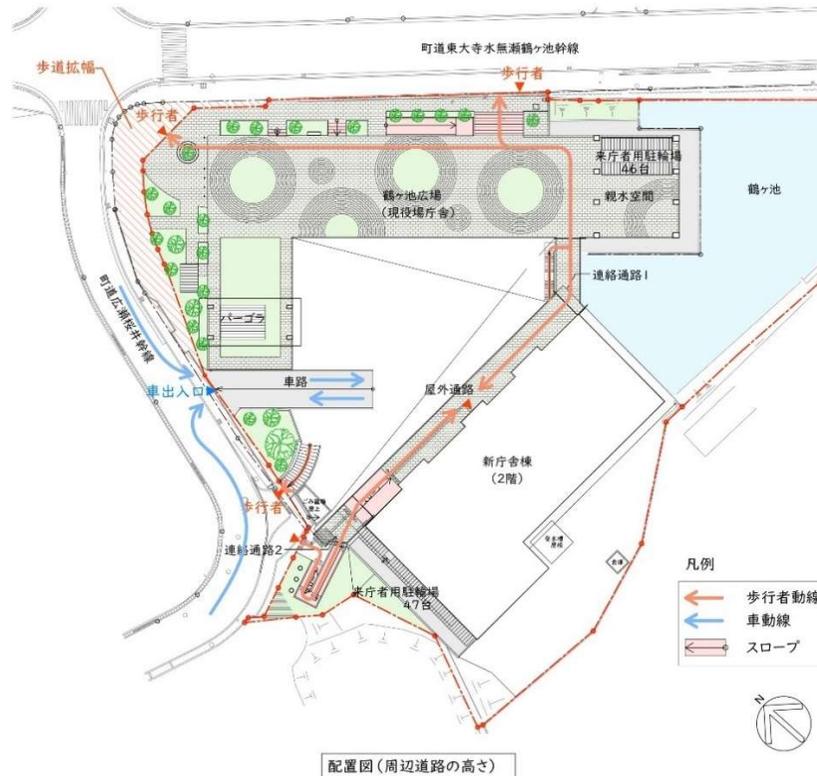
- 新庁舎棟は現役場庁舎の南側（中庭駐車場）に配置します。
- 現役場庁舎の地下及び1階の一部を残して減築改修し、1階部分を広場や親水空間、地階部分を屋内駐車場や諸室などに活用します。
- 現役場庁舎を利用して、広場、親水空間、パーゴラ、屋内駐車場を配置することでまとまったスペースを確保し、イベント時の催しや災害時の災害対策活動が行いやすい配置とします。

快適な歩行動線の形成

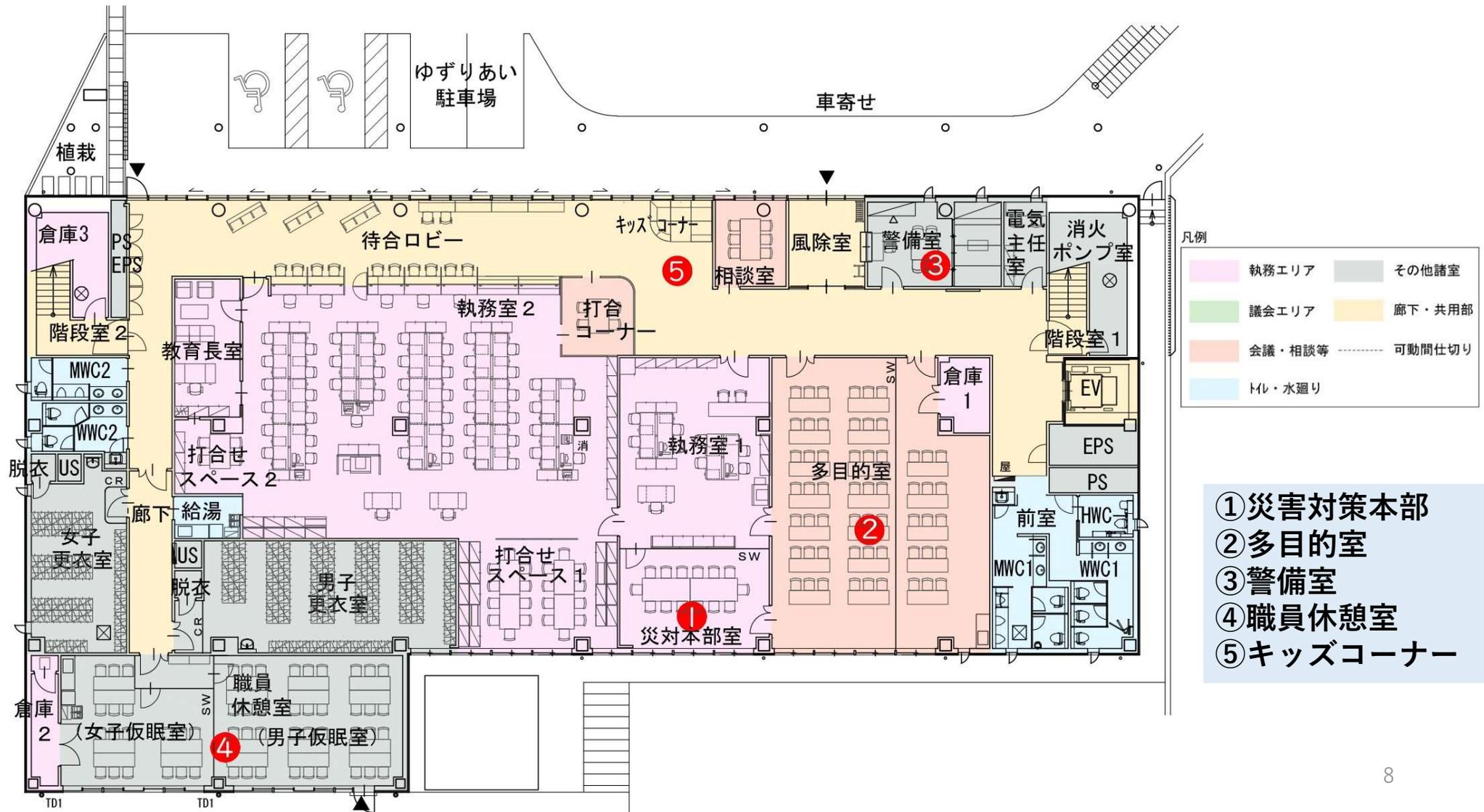
- 北側からの歩行者動線は、広場から連絡通路を通り新庁舎棟2階へアクセスできる配置とします。
- 西側からの歩行者動線は、新庁舎棟1階と2階にアクセスできるよう階段とスロープを設置します。
- 道路から新庁舎棟入口までの経路にスロープなどを配置し、バリアフリーに対応します。
- 北側敷地を一部後退することで、町道広瀬桜井幹線の歩道を拡幅し快適な歩行空間を確保します。

利用しやすい駐車場・駐輪場

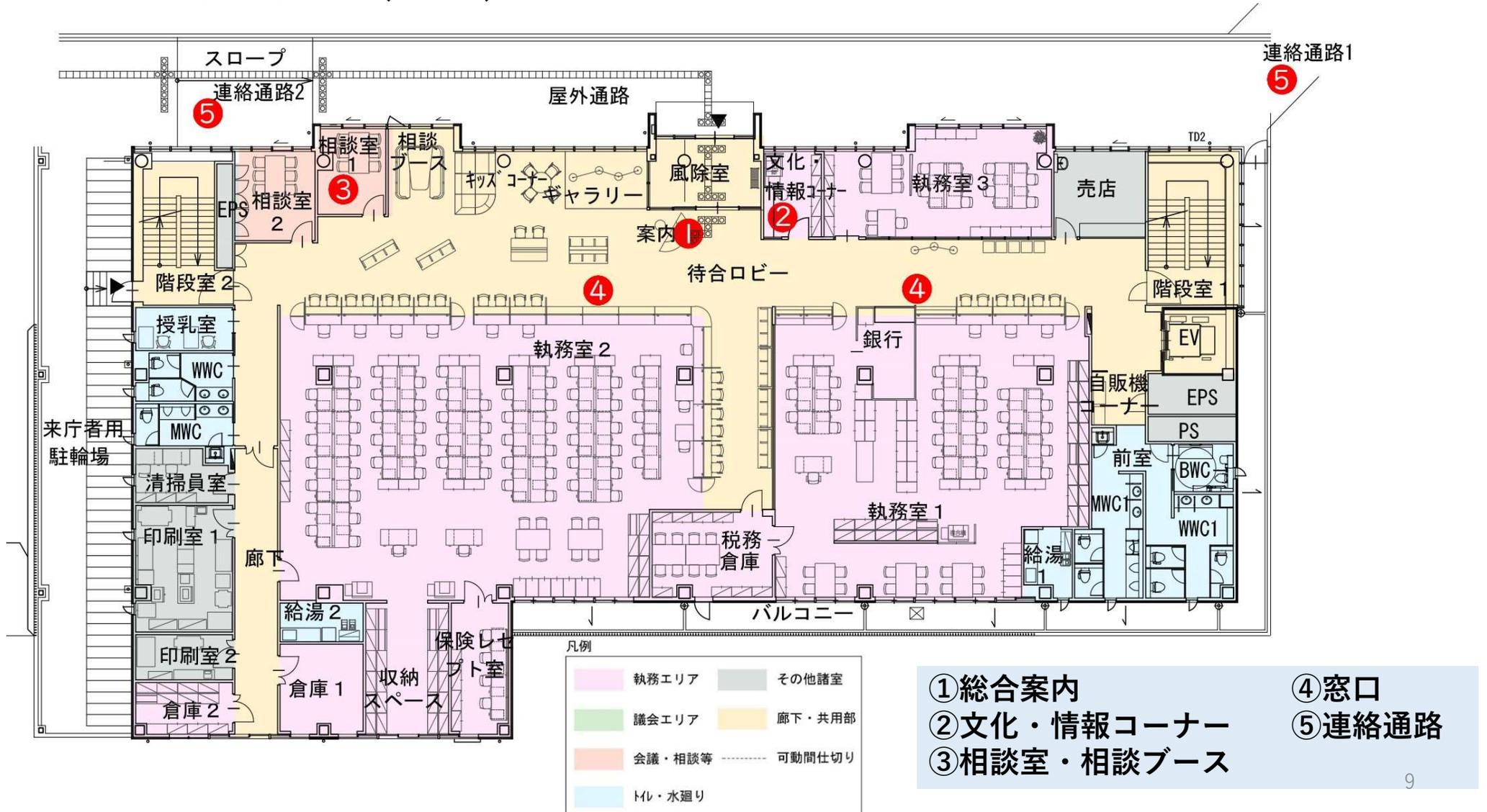
- 車出入口を西側に配置し、徒歩で来庁する動線と交錯しない配置とします。
- 敷地内は車路と歩行空間を明快に構成し、歩車分離を実現します。
- 車寄せに隣接する位置に車いす使用者用駐車場とゆずりあい駐車場を配置します。
- 来庁者用駐輪場を2か所設け、利便性に配慮します。



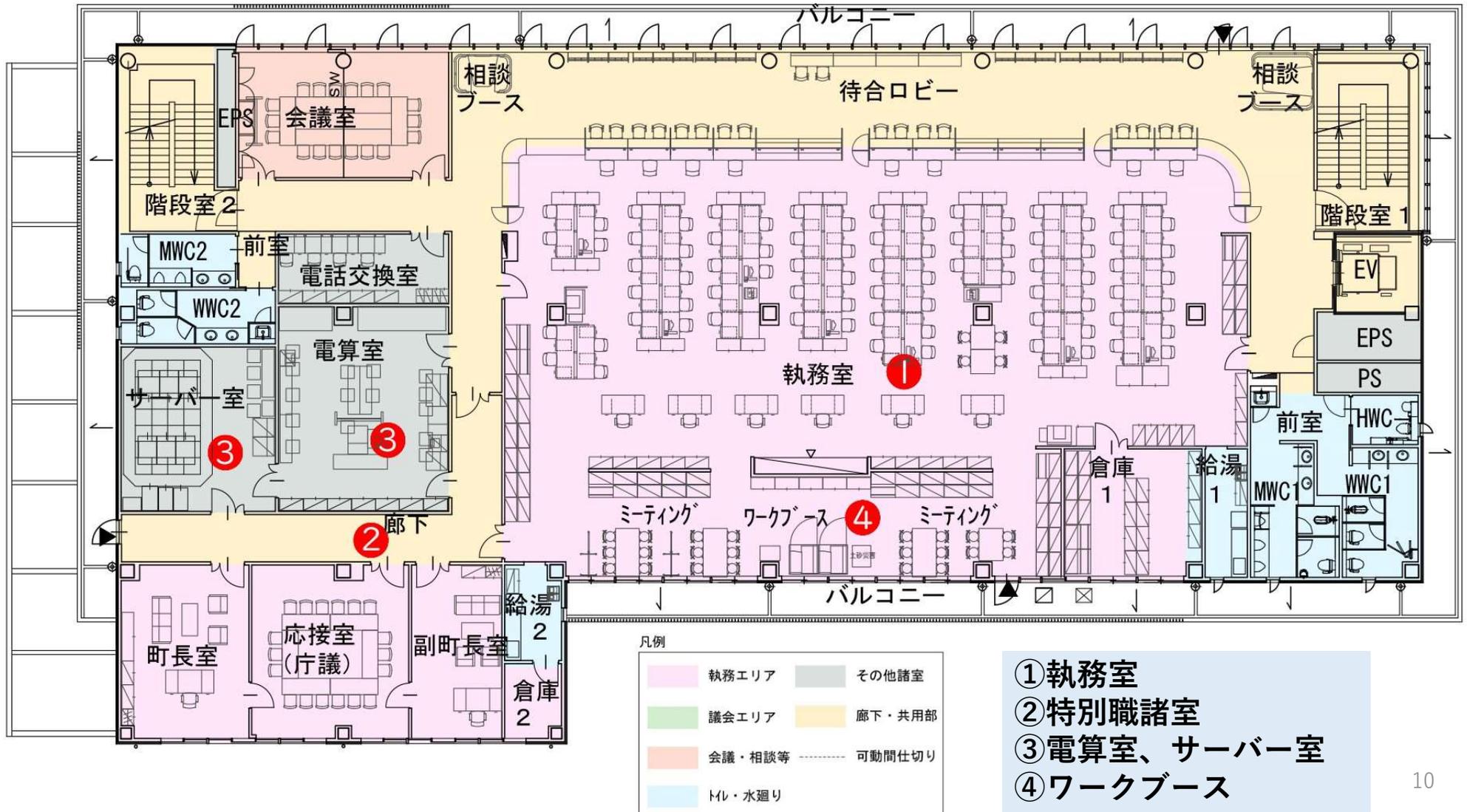
4.平面計画 (1階)



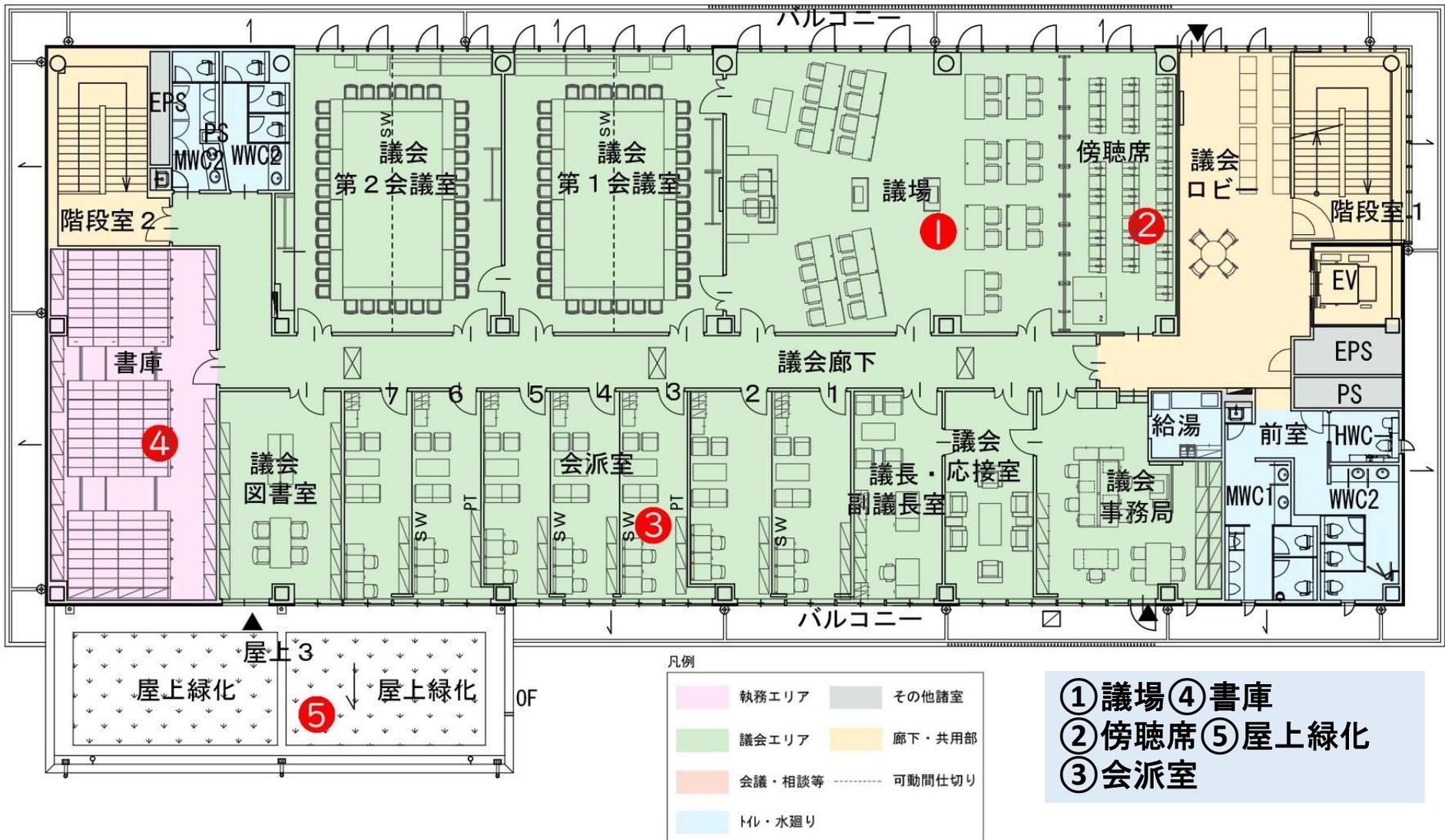
4. 平面計画 (2階)



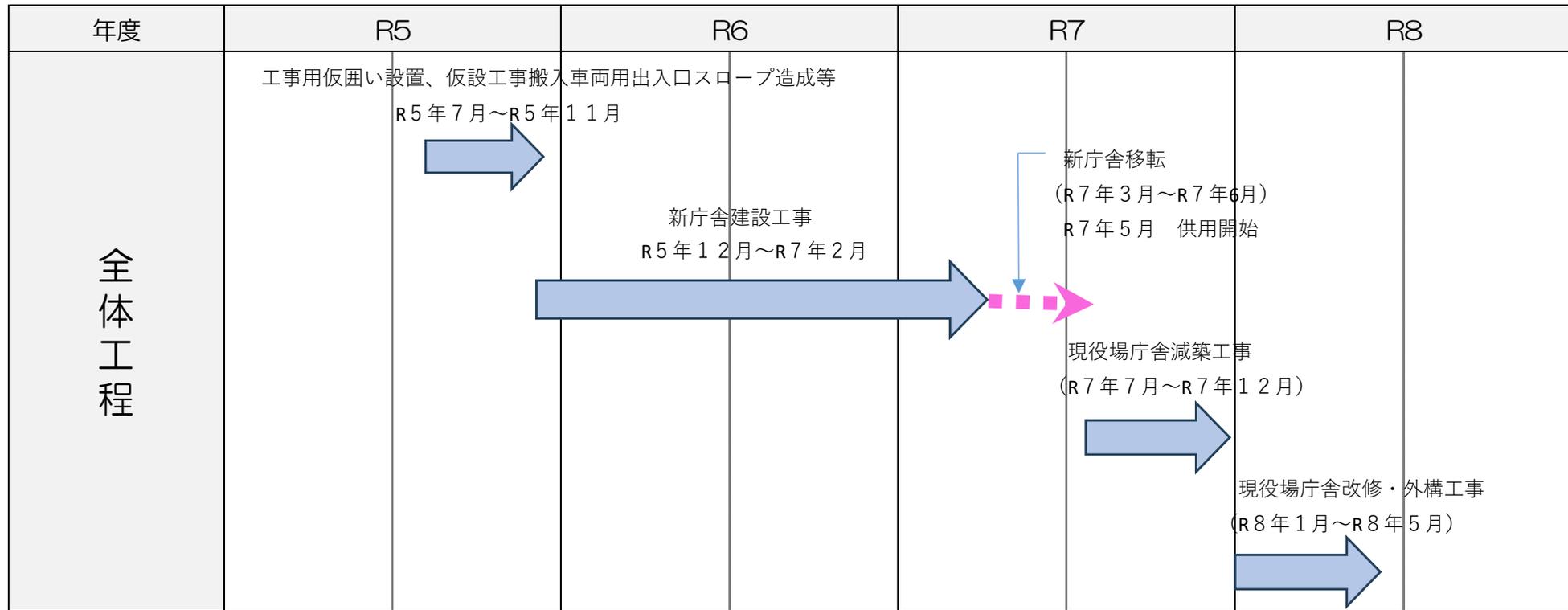
4. 平面計画 (3階)



4. 平面計画 (4階)

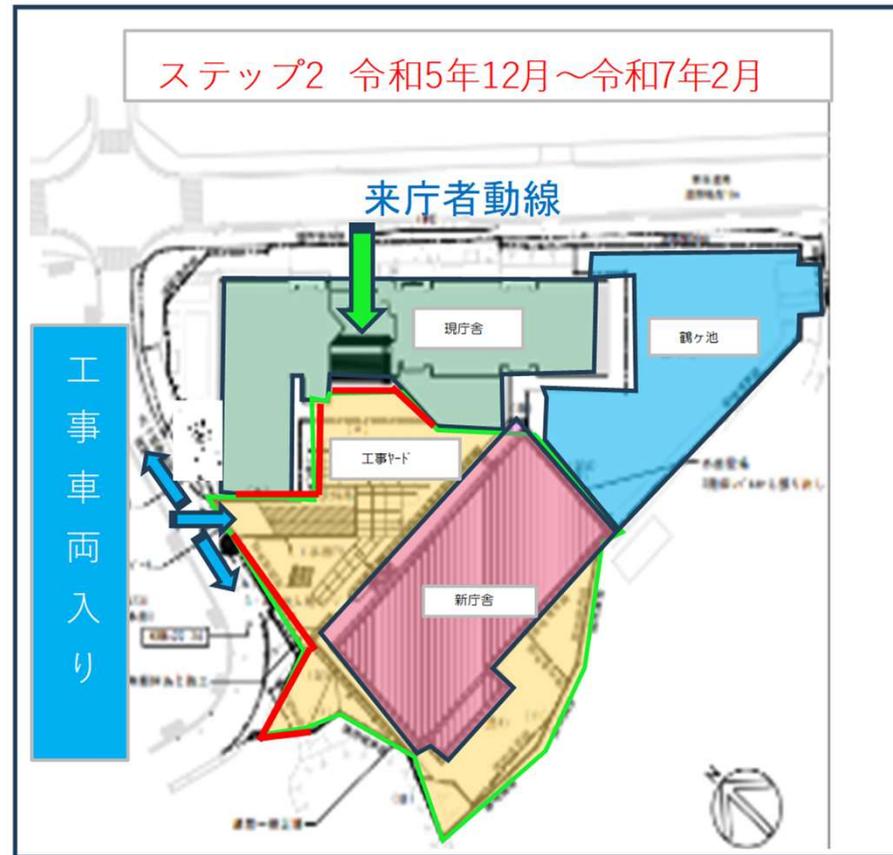
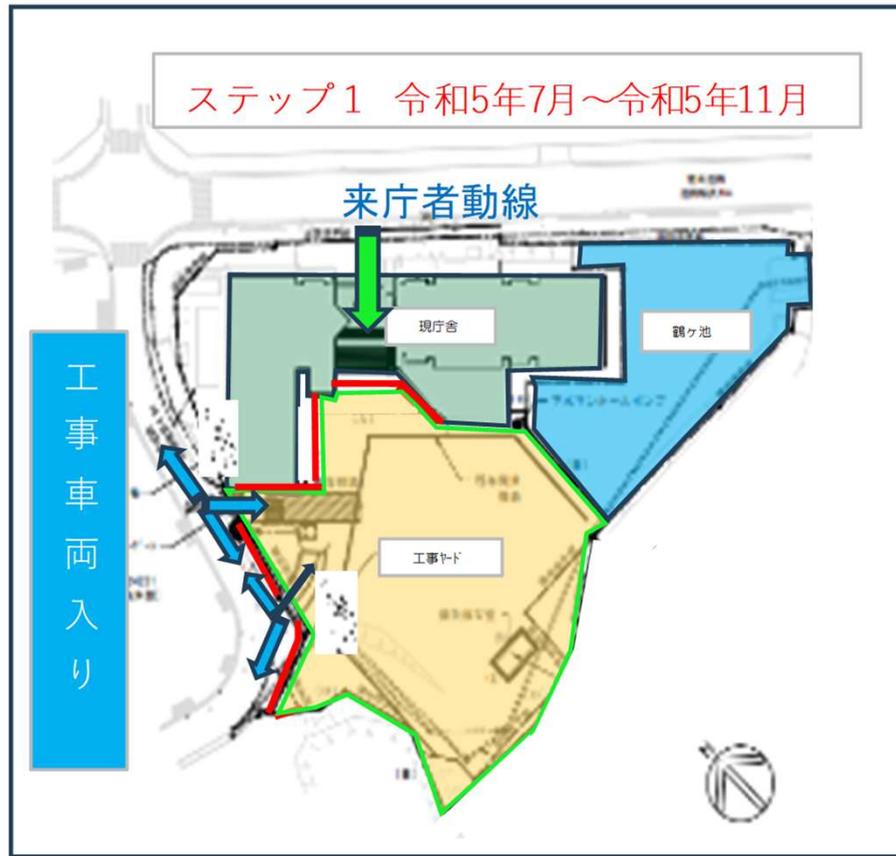


5.工事スケジュール



※現時点でのスケジュールです。

5.工事スケジュール



凡例

- ← 来庁者動線
- ← 工事車両動線
- 工事用仮囲い
- 工事ヤード

5.工事スケジュール



凡例

- ← 来庁者動線
- ← 工事車両動線
- 工事用仮囲い
- 工事ヤード

6.安全管理対策等

■工事車両の安全対策について

- 工事用出入口ゲート周辺に交通誘導員を配置して、歩行者の安全確保や交通事故防止に努めます。
- 付近に通学路があるため、登校時間となる午前7時30分から午前8時30分は、工事車両の搬入を禁止します。下校時間は、安全に気をつけて搬出入致します。
- 工事車両の運行は、交通法規を遵守した安全運転を行います。特に通学路を通行する工事車両に対しては、児童、生徒に十分注意するよう交通安全指導を行います。

■現場管理について

- 工事エリアの外周に仮囲いを設置して周囲との区画を明確にし、工事関係者以外の場内への立ち入りを禁止することで、安全を確保します。
- 工事災害防止の為、工事作業場内及び周辺における安全管理を徹底いたします。
- 作業員への教育の実施や衛生管理の徹底等、作業員の風紀に関する指導監督を行います。

■環境対策について

- 作業所内で使用する重機は、低騒音型とします。
- 作業所内の重機は低速走行とし、騒音・振動を抑制します。
- 防塵対策として、場内車両通行路に鉄板を敷き、適宜散水を行います。
- 工事車両のタイヤに付着した土は場外に持ち出さないよう場内で清掃除去を行います。

7.工事車両搬入・搬出経路



-  大型車両 往路(ポンプ車・ミキサー車・ダンプ車)
-  大型車両 復路(ポンプ車・ミキサー車・ダンプ車)
-  大型車両 特殊車両往路(クレーン車・大型トレーラー)
-  大型車両 特殊車両復路(クレーン車・大型トレーラー)



10T ポンプ車



ミキサー車



25T超クレーン車
(大型特殊車両)



ダンプ車



大型トレーラー
(大型特殊車両)

8.事業費・町負担額・償還金及びその変遷

新庁舎建設費の推移

(単位：億円)

	基本計画	当初試算	実施設計時点	再入札前時点	落札
工事費	25.4	19.8	30.5	35.5	31.9
駐車場整備費	2.5	2.0			
外溝工事費	1.0	1.0			
解体工事費	2.5	2.5			
小計	31.4	25.3	30.5	35.5	31.9
設計費	1.5	1.5	1.1	1.1	1.1
工事監理費	0.4	0.4	1.0	0.8	0.8
CM業務	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	2.8	1.9	2.1	1.9	1.9
合計	34.2	27.2	32.6	37.4	33.7

事業費と町負担額等の比較

(単位：億円)

試算		当初試算	実施設計時点	再入札前時点	落札
事業費		27.2	32.6	37.4	33.7
借入条件	償還年数	30年	30年	30年	30年
	据え置き年数	3年	3年	3年	3年
	固定金利	0.4%	0.9%	1.3%	1.1%
財源	起債額	23.9	29.0	33.3	30.0
	一般財源、基金A	3.3	3.6	4.1	3.7
償還額B		25.5	33.5	40.9	35.8
交付税措置C		6.1	7.5	8.6	7.8
町負担額A+B-C		22.7	29.6	36.4	31.7

※表示単位未満で端数処理しているため、合計が一致しないことがあります。